

愛媛 NEWS WEB

子ども安全管理士を認定へ

12月27日 08時34分

水の事故や誤飲による窒息など、あとをたたない子どもの事故をなくそうと、西条市は、定められた講座やセミナーを受講した人を対象に、独自に「子ども安全管理士」として認定することになりました。

西条市では、平成24年に保育園の行事で川遊びをしていた5歳の男の子が流されて亡くなる事故があり、子どもの安全を守る取り組みが積極的に進められています。

西条市は、愛媛大学や市が年に1回開く一般の人向けの講座やセミナーをあわせて4回受講した人を対象に子どもを守るための専門的な知識を持った「子ども安全管理士」として認定することになりました。

こうした取り組みは、長崎県大村市に続いて、全国でも2例目だということです。

このうち、愛媛大学の1回目の講座が来月13日に西条市内で開かれ、愛媛大学の教授や病院の院長が、子どもの安全に関する法律や身近に潜む危険や備えについて講義をする予定です。

講座の定員は80人で、来月8日までにメールかFAXで申し込みば、無料で受講できるということです。

また、市のセミナーも、来年度中に開かれる予定です。

西条市経営戦略部の越智三義部長は「認定を通してモチベーションを高め、子どもの安全に関する知識や考え方をぜひ習得してほしい」と話しています。